

MAKE THE
WORLD SEE

Milestone Systems

XProtect® VMS 2022 R2

スタートガイド - シングルコンピュータのインストール

XProtect Corporate

XProtect Expert

XProtect Professional+

XProtect Express+



目次

著作権、商標、および免責条項	3
概要	4
このガイドについて	4
ライセンス	5
ライセンス（説明付き）	5
ライセンスタイプ	5
基本ライセンス	5
デバイスライセンス	5
Milestone Interconnect™用のカメラライセンス	6
アドオン製品用のライセンス	6
ライセンスアクティベーション	6
要件と注意事項	8
スタートガイドチェックリスト	8
インストールを開始する前に	9
サーバーとネットワークの準備	9
ウイルススキャン（説明付き）	9
カメラとデバイスの準備	10
ソフトウェアライセンスコードを登録する	11
インストール	12
システムのインストール	12
XProtect®Device Packのダウンロード	15
クライアントのインストール	15
XProtect Smart Clientをインストールする	15
XProtect Smart Clientインターフェイス	17
Management Clientをインストールする	18
Management Clientインターフェイス	19
最適化	20
システムの調整	20

著作権、商標、および免責条項

Copyright © 2022 Milestone Systems A/S

商標

XProtectはMilestone Systems A/Sの登録商標です。

MicrosoftおよびWindowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。AndroidはGoogle Inc.の商標です。

本文書に記載されているその他の商標はすべて、該当する各所有者の商標です。

免責条項

このマニュアルは一般的な情報を提供するためのものであり、その作成には細心の注意が払われています。

この情報を使用することにより発生する危険の責任はすべてその使用者にあるものとします。また、ここに記載されている内容はいずれも、いかなる事項も保証するものではありません。

Milestone Systems A/Sは、事前の通知なしに変更を加える権利を有するものとします。

本書の例で使用されている人物および組織の名前はすべて架空のものです。実在する組織や人物に対する類似性は、それが現存しているかどうかにかかわらず、まったく偶然であり、意図的なものではありません。

この製品では、特定の契約条件が適用される可能性があるサードパーティ製ソフトウェアを使用することがあります。その場合、詳細はお使いのMilestoneシステムインストールフォルダーにあるファイル3rd_party_software_terms_and_conditions.txtを参照してください。

概要

このガイドについて

このXProtect VMS向けシングルコンピュータインストールのスタートガイドは、システムを初めて利用する際の参考資料として使用できます。このガイドを参考にして、システムの基本インストールを実行し、クライアントとサーバー間の接続を検証できます。

このガイドには、ソフトウェアの使用やシステムの操作を開始するにあたってのチェックリストやタスクが記載されています。

MilestoneWebサイト (<https://www.milestonesys.com/downloads/>) で最新情報を確認し、必ずソフトウェアの最新バージョンをインストールしてください。

ライセンス

ライセンス（説明付き）

インストールを開始する前に、このトピックのライセンスについて知ることができます。



XProtect Essential+をインストールする場合は、8つのデバイスライセンスを含むシステムを無料で実行できます。これらをシステムに追加すると、オートマチックライセンスアクティベーションが可能になり、ハードウェア デバイスがアクティベートされます。



より高度なXProtect製品にアップグレードする場合にのみ、このトピックの残りの部分に関連します。

ソフトウェアとライセンスを購入すると、次のものを受け取ります。

- 注文確認書とSLC (ソフトウェアライセンスコード)に基づく名前が付けられ、.lic拡張子の付いたソフトウェアライセンスファイルが電子メールで受信されます。
- Milestone Careの監視範囲

まず、当社のWebサイト (<https://www.milestonesys.com/downloads/>) からソフトウェアをダウンロードしてください。ソフトウェアをインストールするときには、有効なライセンスファイル(.lic)を指定する必要があります。

ライセンスタイプ

XProtectライセンスシステムでは、複数のライセンスタイプが用意されています。

基本ライセンス

最低でも、いずれかのXProtect VMS製品に対して1つの基本ライセンスを保有することになります。XProtectアドオン製品には1つ以上の基本ライセンスをお持ちの場合もあります。

デバイスライセンス

最低でも、複数のデバイスライセンスを保有することになります。通常は、システムに追加したいカメラ搭載ハードウェアデバイスごとに、1つのデバイスライセンスが必要となります。ただし、これはハードウェアデバイスによって異なる場合があり、Milestoneに対応したハードウェアデバイスであるかどうかに応じて変化します。詳細については、「[ページ6の対応ハードウェアデバイス](#)」および「[ページ6の非対応ハードウェアデバイス](#)」を参照してください。

XProtect Mobileでビデオプッシュ機能を使用したい場合は、システムにビデオをプッシュするためのモバイルデバイスまたはタブレットごとに、デバイスライセンスが1つ必要となります。

カメラに搭載されているスピーカー、マイク、入出力デバイスにはデバイスライセンスは必要ありません。

対応ハードウェアデバイス

通常は、システムに追加したいカメラ搭載ハードウェアデバイスごとに、1つのデバイスライセンスが必要となります。ただし少数ながら、複数のデバイスライセンスが必要となる対応ハードウェアデバイスも存在します。ハードウェアデバイスにいくつのデバイスライセンスが必要となるかは、Milestone Webサイト

(<https://www.milestonesys.com/supported-devices/>) の対応ハードウェアのリストで確認できます。

最大16チャンネルを有するビデオエンコーダーについては、ビデオエンコーダーのIPアドレスごとに1つのデバイスライセンスしか必要ありません。ビデオエンコーダーには1つ以上のIPアドレスがある場合があります。

ただし、ビデオエンコーダーのチャンネル数が16を超える場合、ビデオエンコーダー上でアクティベートされたカメラごとに（ならびにアクティベートされた最初の16台分のカメラごとに）1つのデバイスライセンスが必要となります。

非対応ハードウェアデバイス

非対応ハードウェアデバイスについては、ビデオチャンネルを使用しているアクティベート済みカメラごとにデバイスライセンスが1つ必要となります。

非対応ハードウェアデバイスは、Milestone Webサイト (<https://www.milestonesys.com/supported-devices/>) の対応ハードウェアのリストには記載されていません。

Milestone Interconnect™用のカメラライセンス

Milestone Interconnectを実行するには、中央サイトに、リモートサイトのハードウェアデバイスから動画を表示するためのMilestone Interconnectカメラライセンスが必要です。必要なMilestone Interconnectカメラライセンスの数は、データを受信したいリモートサイトのハードウェアデバイスの数によって異なります。XProtect Corporateのみが中央サイトとして動作できます。

アドオン製品用のライセンス

ほとんどのXProtectアドオン製品には追加のライセンスタイプが必要です。ソフトウェアライセンスファイルには、アドオン製品のライセンスの情報も含まれています。一部のアドオン製品には、個別のソフトウェアライセンスファイルがあります。

ライセンスアクティベーション

インストールが完了すると、ライセンスを利用して監視システムが実行されます。このライセンスは指定された期間内にアクティベートする必要があります。この期間が猶予期間です。インストールの完了後、このSLCを使用したインストールすべてのライセンス概要をManagement Client **基本 > ライセンス情報** ページで確認できます。

Milestoneは、最終調整を行う前にライセンスをアクティベートすることをお勧めします。ライセンスをアクティベートせずに猶予期限切れになると、ライセンスがアクティベートされていないすべてのレコーディングサーバーやカメラは、監視システムにデータを送信できなくなります。

ライセンスをアクティベートするには、

- オンラインアクティベーションの場合は、My MilestoneのWebサイト (<https://online.milestonesys.com/>) でご自分のMilestoneアカウントを使用してソフトウェア登録ページにログインします。
 - オフラインでアクティベーションする場合は、ManagementClientにあるライセンスリクエスト(.lrq)ファイルをエクスポートし、「ソフトウェア登録」ページにログインしてその.lrqファイルをアップロードしてください
- .lrqファイルをアップロードした後は、インポートする認証済みの.licファイルをMilestoneが電子メールで提供します。

要件と注意事項

スタートガイドチェックリスト

次のチェックリストに従い、正しい順序でインストールの手順を実行していることを確認してください。

コンプリー できましたか?	手順:	詳細
<input type="checkbox"/>	サーバーとネットワークの準備	最新のアップデートされた Microsoft Windows®をインストール Microsoft® .NET Framework 4.8以降がインストールされている すべてのシステムコンポーネントに固定IPアドレスを割り当てるか、DHCP予約を作成します。
<input type="checkbox"/>	ウイルス スキャンについて	特定のファイルタイプやフォルダーを除外してください。
<input type="checkbox"/>	カメラとデバイスの準備	カメラのモデルとファームウェアがXProtectシステムでサポートされていることを確認します カメラはネットワークに接続し、システムをインストールしたコンピュータからアクセスできる必要があります。
<input type="checkbox"/>	ソフトウェアライセンスコードの登録	MilestoneのWebサイト (https://online.milestonesys.com/) に移動し、SLCを登録します .licファイルを取得します このステップはXProtect Essential+システムには適用されません
<input type="checkbox"/>	インストールファイルのダウンロード	MilestoneのWebサイト (https://www.milestonesys.com/downloads/) に移動し、該当するインストールファイルをダウンロードします
<input type="checkbox"/>	システムのインストール	シングルコンピュータへのインストールの詳細な説明については、 ページ12のシステムのインストール
<input type="checkbox"/>	他のコンピュータにクライアントをインストールします	ページ15のXProtect Smart Clientをインストールする ページ18のManagement Clientをインストールする

インストールを開始する前に

サーバーとネットワークの準備

オペレーティングシステム

すべてのサーバーにMicrosoft Windowsオペレーティングシステムのクリーンインストールがあり、すべてのサーバーにすべての最新のWindows更新がインストールされていることを確認します。

さまざまなVMSアプリケーションおよびシステムコンポーネントのシステム要件についての情報は、Milestoneウェブサイト (<https://www.milestonesys.com/systemrequirements/>) をご覧ください。

Microsoft® .NET Framework

すべてのサーバーにMicrosoft .NET Framework 4.8またはそれ以上のバージョンがインストールされていることを確認します。

ネットワーク

すべてのシステムコンポーネントに固定IPアドレスを割り当てるか、カメラにDHCP予約を作成します。十分な帯域幅がネットワークで使用可能であることを保証するために、システムにより帯域幅が消費される方法とタイミングを理解する必要があります。ネットワークに対する主要な負荷には次の3つの要素があります。

- カメラビデオストリーム
- ビデオを表示するクライアント
- 録画されたビデオのアーカイブ

レコーディングサーバーはカメラからビデオストリームを取得し、これがネットワークに対する固定的な負荷になります。ビデオを表示するクライアントはネットワーク帯域幅を消費します。クライアントビューのコンテンツに変更がない場合は、負荷は一定です。ビューコンテンツ、ビデオ検索、または再生の変更により、負荷が動的になります。

録画したビデオのアーカイブはオプションの機能で、コンピュータの内部ストレージシステムに十分なスペースがない場合に、システムがネットワークストレージに録画を移動します。これは定義する必要があるスケジュールされたジョブです。一般的には、ネットワークドライブにアーカイブし、ネットワークに対するスケジュールされた動的な負荷にします。

ネットワークには、このようなトラフィックのピークに対応するための帯域幅ヘッドルームが必要です。これにより、システムの応答性と一般的なユーザー経験が改善されます。

ウイルススキャン（説明付き）

XProtectソフトウェアにはデータベースが含まれており、他のデータベースと同様に、特定のファイルやフォルダーをウイルススキャンから除外する必要があります。このような例外を設定しておかないと、ウイルススキャンで大量のシステムリソースが消費されてしまいます。さらに、スキャンプロセスによってファイルが一時的にロックさ

れ、その結果として録画プロセスが破損したり、データベースが破損する可能性もあります。

ウイルススキャンを実行する必要がある場合、録画データベースを含んでいるレコーディングサーバーのフォルダー（デフォルトではC:\mediadatabase\、ならびにすべてのサブフォルダー）はスキャンしないでください。また、アーカイブ保存ディレクトリでもウイルススキャンは実行しないでください。

以下を除外に追加してください。

- ファイルのタイプ：.blk、.idx、.pic
- フォルダーおよびサブフォルダー：
 - C:\Program Files\Milestone
 - C:\Program Files (x86)\Milestone
 - C:\ProgramData\Milestone

組織によってはウイルススキャンに関する厳密な方針があるかもしれませんが、上記の場所やファイルをウイルススキャンから除外することが重要です。

カメラとデバイスの準備

カメラとデバイスがサポートされていることを確認します。

MilestoneのWebサイトには、サポートされているデバイスとファームウェアのバージョンの詳細なリストが掲載されています (<https://www.milestonesys.com/supported-devices/>)。Milestoneはデバイスまたはデバイス ファミリー固有のドライバー、ONVIF、またはRTSP/RTPプロトコルを使用するデバイスなどの標準デバイス向け汎用ドライバーを開発しています。

汎用ドライバーを使用し、サポート対象に指定されていない一部のデバイスでも動作する場合がありますが、Milestoneはこのようなデバイスのサポートを提供しません。

ネットワーク上でカメラにアクセスできることを確認する

レコーディングサーバーはカメラに接続できる必要があります。これを確認するには、XProtectシステムをインストールするコンピュータで、ブラウザまたはカメラに付属のソフトウェアからカメラに接続します。カメラにアクセスできない場合は、XProtectシステムもカメラにアクセスできません。



セキュリティ上の理由から、Milestoneはカメラの資格情報をメーカーのデフォルト値から変更をお勧めします。

ベンダーから提供されたソフトウェアでデバイスにアクセスする代わりに、Windowsのpingユーティリティを使用できます。

ネットワーク構成の詳細については、カメラのマニュアルを参照してください。システムがデフォルトポート設定で構成されている場合は、HTTPポート80番にカメラを接続してください。また、デフォルトポート設定の変更を選択することもできます。



カメラのデフォルト資格情報を変更した場合は、必ずカメラをシステムに追加するときその情報を使用してください。

ソフトウェアライセンスコードを登録する

インストールする前に、Milestoneから受け取ったソフトウェアライセンスファイルの名前と場所を把握しておく必要があります。

XProtect Essential+の無料版をインストールできます。無料版はXProtect VMSの機能やカメラの数が限られています。インストールのためにはインターネットに接続してくださいXProtect Essential+。

ソフトウェアライセンスコード（SLC）は注文確認書に記載されています。ソフトウェアライセンスファイル名はSLCに基づいています。Milestoneは、インストールする前にWebサイト（<https://online.milestonesys.com/>）でSLCを登録することをお勧めします。代理店により登録済みの場合もあります。

インストール

システムのインストール

シングルコンピュータ オプションは、現在のコンピュータにすべてのサーバーコンポーネントとクライアントコンポーネントをインストールします。

XProtect Essential+の無料版をインストールできます。無料版はXProtect VMSの機能やカメラの数が限られています。インストールのためにはインターネットに接続してくださいXProtect Essential+。

レコーディングサーバーはネットワーク上でハードウェアをスキャンします。検知されたデバイスがシステムに自動的に追加されます。カメラのビューが事前構成され、デフォルトのオペレータの役割が作成されます。インストールが終わるとXProtect Smart Clientが開き、使用できるようになります。



以前のバージョンの製品からアップグレードすると、システムはカメラのスキャン、または新しいビューとオペレータの役割作成を行いません。

1. ソフトウェアをインターネット (<https://www.milestonesys.com/downloads/>) からダウンロードし、Milestone XProtect VMS Products 2022 R2 System Installer.exeファイルを実行します。
2. インストールファイルが展開されます。セキュリティ設定によって、1つまたは複数のWindows®セキュリティ警告が表示されます。これらを許可すると、展開が続行されます。
3. 完了すると、**Milestone XProtect VMS**インストールウィザードが表示されます。
 1. インストール中に**言語**を選択します（これは、インストール後にシステムによって使用される言語ではありません。これは後の段階で選択します）。**続行**をクリックします。
 2. **Milestone**使用許諾契約を読みます。**使用許諾契約の条項に同意します**チェックボックスを選択して、**続行**をクリックします。
 3. **プライバシー設定**ページで、使用データを共有したいかどうかを選択し、**続行**をクリックします。



システムを欧州GDPRに準拠するインストールにしたい場合は、データ収集を有効にしないでください。データ保護と使用状況データの収集の詳細については、[GDPRプライバシーガイド](#)を参照してください。



プライバシー設定は後ほどいつでも変更できます。[システム設定（オプションのダイアログボックス）](#)も参照してください。

4. **ライセンス ファイルの場所を入力または参照**で、XProtectプロバイダーから入手したライセンス ファイルを入力します。参照してを見つけるか、**XProtect Essential+**リンクをクリックして無料ライセンス ファイルをダウンロードすることもできます。続行する前に、ライセンス ファイルがシステムで検証されます。続行をクリックします。



有効なライセンスファイルがない場合は、無料で取得することができます。
XProtect Essential+リンクをクリックして、無料のライセンスファイルをダウンロードします。無料のライセンスファイルがダウンロードされ、**ライセンスファイルの場所を入力または参照**フィールドに表示されます。

4. **シングルコンピュータ**を選択します。

インストールするコンポーネントのリストが表示されます（このリストは編集できません）。続行をクリックします。

5. **レコーディングサーバー設定の指定**ウィンドウでは、以下のことを行います。

1. **レコーディングサーバー名**フィールドに、レコーディングサーバー名を入力します。デフォルトでコンピュータ名になっています。
2. **マネジメントサーバーのアドレス**フィールドにマネジメントサーバーのアドレスとポート番号が表示されます：localhost:80
3. **メディアデータベースロケーションの選択**フィールドで、ビデオ録画を保存したい場所を選択します。ビデオ録画は、プログラムをインストールする場所とは別の、システムドライブ以外の場所に保存することをMilestoneは推奨します。デフォルトの場所は、最も容量のあるドライブです。
4. **ビデオ録画の保存期間**では、ビデオ録画の保存期間を定義します。保存期間は、7日がデフォルトで設定されていますが、1日から999日まで設定が可能です。
5. **続行**をクリックします。

6. **ファイルのロケーションと製品言語を選択する** ウィンドウでは、以下をしてください：

1. **ファイルの場所**フィールドで、プログラムをインストールしたい場所を選択してください。
2. **製品の言語**で、どの言語でXProtect製品をインストールするかを選択します。
3. **インストール**をクリックします。

ソフトウェアがインストールされます。まだコンピュータにインストールされていない場合は、インストール中にMicrosoft® SQL Server® ExpressとMicrosoft IISが自動的にインストールされます。

コンピュータを再起動するよう指示される場合があります。コンピュータの再起動後、セキュリティ設定によって1つまたは複数のWindowsセキュリティ警告が表示される場合があります。これらを許可すると、インストールが完了します。

7. インストールが完了すると、コンピュータにインストールされているコンポーネントのリストが表示されま
す。

続行をクリックして、システムにハードウェアとユーザーを追加してください。



ここで**閉じる**をクリックすると設定ウィザードがスキップされ、XProtect Management Clientが開きます。Management Clientでは、システムを設定できま
す(ハードウェアやユーザーのシステムへの追加など)。

8. **ハードウェア用のユーザー名とパスワードを入力する**ウィンドウでは、製造業者のデフォルトから変更をし
た、ハードウェア用のユーザー名とパスワードを使用します。

インストーラにより、これらのハードウェアのネットワークと、メーカーのデフォルト資格情報が割り当て
られたハードウェアのネットワークがスキャンされます。

続行をクリックします。

9. **システムに追加するハードウェアを選択する**ウィンドウでは、システムに追加したいハードウェアを選択し
ます。**続行**をクリックします。

10. **デバイスを設定する**ウィンドウでは、ハードウェアの名前の横にある、編集アイコンをクリックして、ハー
ドウェアに便利な名前をつけることができます。この名前は、ハードウェアデバイスの名前の先頭に付きま
す。

ハードウェアノードを展開して、カメラ、スピーカー、マイクなどのハードウェアデバイスを有効または無
効にします。



デフォルトで、カメラは有効化、スピーカーとマイクは無効化されています。

続行をクリックします。

11. **ユーザーを追加する**ウィンドウでは、Windowsユーザーおよび基本ユーザーを追加できます。これらのユー
ザーは、システムシステム管理者の役割、あるいはオペレータの役割を持つことができます。

ユーザーを定義し、**追加**をクリックします。

ユーザーの追加が終わったら、**続行**をクリックします。

インストールと初期設定が終わると、**設定が完了しました**というウィンドウが現れ、以下が表示されます：

- システムに加えられたカメラとデバイス
- システムに加えられたユーザーのリスト
- XProtect Web Clientおよびモバイルサーバーへのアドレス。これらはコピーして、他のユーザーと共有する
ことができます。

閉じるをクリックするとXProtect Smart Clientが開き、利用可能になります。

XProtect® Device Packのダウンロード

Device Packは、デバイスと連携するためのXProtectシステムとともにインストールする複数のドライバーです。Device PackはRecording Serverにインストールされます。Milestoneは定期的に新しいデバイスとファームウェアバージョンのサポートを追加し、平均で2ヶ月ごとにデバイス パックをリリースしています。Device Packは、XProtectシステムをインストールするときに自動的に含まれます。最新のDevice Packを入手するために、最新のバージョンがダウンロードしてインストールされるように手動で確認してください。

インストール後にデバイスパックを更新するにはMilestone Webサイト

(<https://www.milestonesys.com/downloads/>) のダウンロードセクションに移動し、該当するインストールファイルをダウンロードします。



ご使用のシステムで非常に古いカメラを使用している場合は、レガシーデバイス用のDevice Packをダウンロードする必要があります。詳細については、<https://www.milestonesys.com/community/business-partner-tools/device-packs/>を参照してください。

クライアントのインストール

あなたは他のコンピュータからクライアントを介してXProtectシステムにアクセスできます。次のステップを参照しながら、ビデオ表示用のXProtect Smart Client とシステムの構成・管理用のManagement Clientのダウンロード、インストールを行ってください。

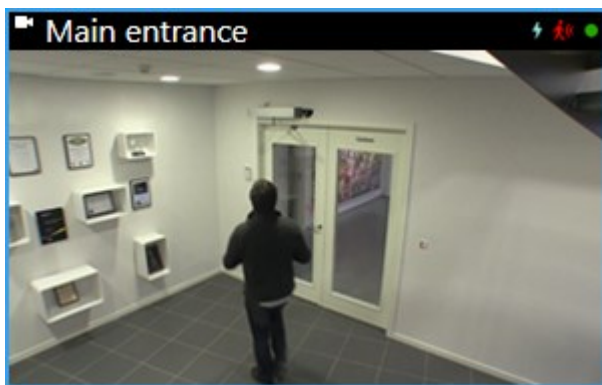
XProtect Smart Clientをインストールする


XProtectシステムには、公開インストールWebページが組み込まれています。このWebページから、ネットワーク内の他のコンピュータからXProtect Smart Clientをダウンロードしてインストールできます。

1. 公開インストールWebページにアクセスするには、次のURLをブラウザに入力します：**http://[computer address]/installation/**
[コンピュータのアドレス]には、XProtect VMSコンピュータのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
2. **[すべての言語]**をクリックしてダウンロードしたファイルを実行します。
3. すべての警告で**はい**をクリックします。解凍が開始します。
4. インストーラで使用する言語を選択してから、**続行**をクリックします。
5. 使用許諾契約を読み、同意します。**続行**をクリックします。
6. インストールをタイプを選択してください。**標準**をクリックすると、デフォルト値を選択し、インストールを開始します。
7. XProtect Smart Clientを開きます。XProtect Smart Clientのログインダイアログボックスが表示されます。
8. **[コンピュータ]**フィールドで、XProtect VMSコンピュータのホスト名またはIPアドレスを指定します。

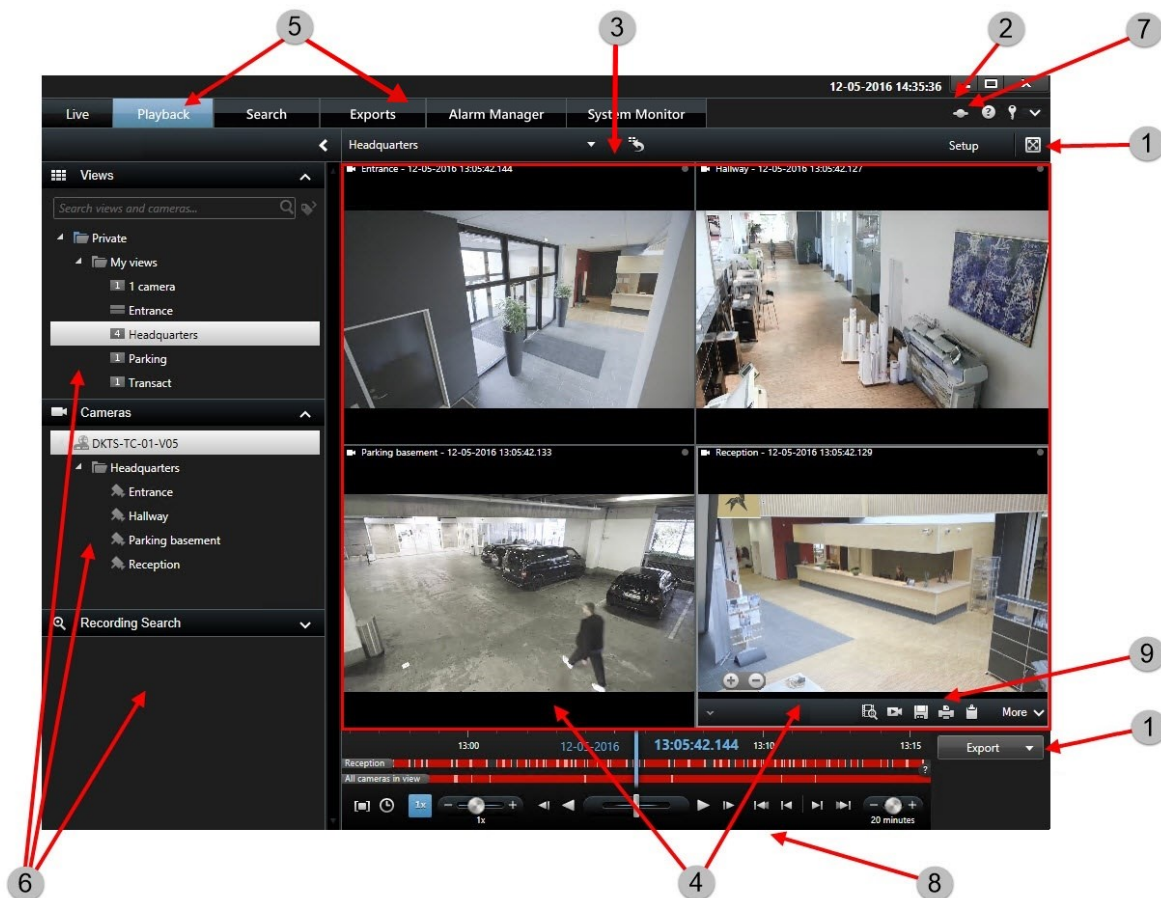
9. 認証を選択して、ユーザー名とパスワードを入力します。**[接続]**をクリックするとXProtect Smart Clientが開きます。
10. デフォルトのビューを確認したり、新しいビューを追加することができます。**セットアップ**モードで、グループ、ビューの順にこのグループに追加します。
11. 表示アイテムまでドラッグし、もう一度**[セットアップ]**をクリックして、表示アイテムのいずれかをカメラに追加します。

ライブビデオを表示でき、カメラビューの右上端に丸いビデオインジケータが緑色または赤色になっていることを確認します。緑色は、カメラがビデオをシステムに送信することを示します。赤色は、システムが現在録画中であることを示します。



XProtect Smart Clientで機能とタスクの詳細、およびシステムで実行できる処理を確認するには、右上端の**[ヘルプ]**アイコン  をクリックするか、**[F1]**キーを押してコンテキスト依存ヘルプを表示します。

XProtect Smart Clientインターフェイス



XProtect Smart Clientでは、ライブビデオは[ライブ]タブに、録画ビデオは[再生]タブに表示されます。[ライブ]タブを選択すると、XProtect Smart Clientは、監視システムサーバーに接続し、カメラからのライブビデオが選択したビューで再生されます。

アイテム	機能
1	タスクボタン
2	アプリケーションのツールバー
3	ビュー

アイテム	機能
4	アイテムの表示
5	タブ
6	パネル
7	アプリケーションボタン
8	タイムライン
9	カメラツールバー

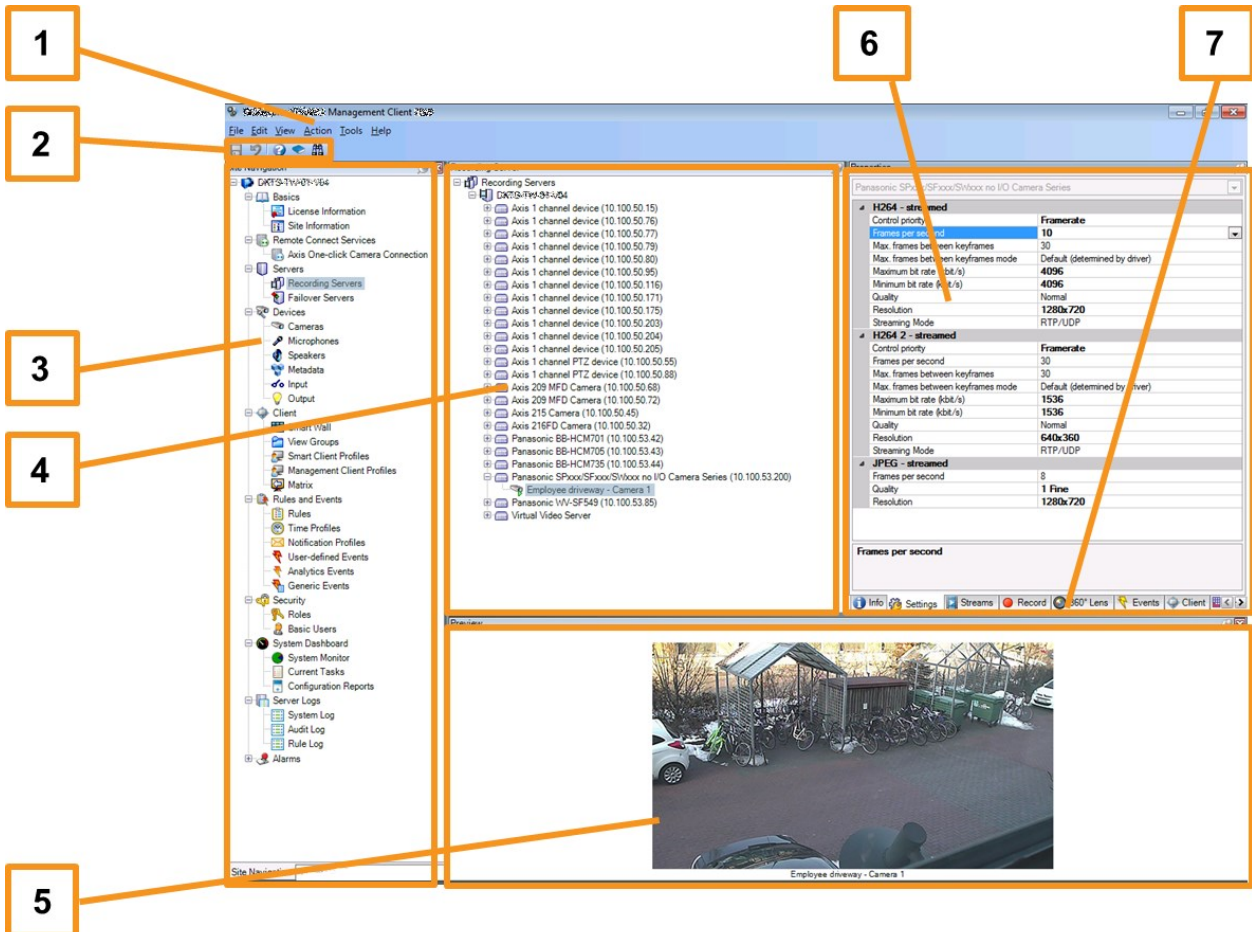
Management Clientをインストールする

XProtect VMSには、システム管理者インストールWebページが組み込まれています。システム管理者は、このWebページからManagement Clientやその他のXProtectシステムポーネントをネットワーク内の他のコンピュータにダウンロードしてインストールできます。

1. 管理インストールWebページにアクセスするには、ブラウザで次のURLを入力します：**http://[computer address]/installation/admin/**
[コンピュータのアドレス]には、XProtect VMSコンピュータのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
2. Management Clientインストーラで[すべての言語]をクリックします。ダウンロードしたファイルを実行します。
3. すべての警告で**はい**をクリックします。解凍が開始します。
4. インストーラの言語を選択してください。**続行**をクリックします。
5. 使用許諾契約を読み、同意します。**続行**をクリックします。
6. ファイルの場所および製品の言語を選択してください。**インストール**をクリックします。
7. インストールが完了しました。正常にインストールされたコンポーネントの一覧が表示されます。**閉じる**をクリックします。
8. デスクトップのアイコンをクリックし、Management Clientを開きます。
9. Management Clientのログインダイアログが表示されます。
10. **コンピュータ**フィールドでManagement Serverのホスト名またはIPアドレスを指定します。
11. 認証を選択して、ユーザー名とパスワードを入力します。**接続**をクリックします。Management Clientが起動します。

Management Clientの機能の詳細とシステムで実行できる処理を表示するには、ツールメニューにある[ヘルプ]をクリックします。

Management Clientインターフェイス



1. ツールメニュー
2. ショートカットアイコン
3. サイトナビゲーションペイン
4. 概要ペイン
5. ビデオプレビュー
6. プロパティ
7. プロパティタブ

最適化

システムの調整

複数のサイトにある最大数千台のカメラの調整を可能にするために、システムには特定のタスクを処理する複数のコンポーネントがあります。これですべてのコンポーネントをシングルサーバー上にインストールできました。別の方法として、別個の専用サーバーにコンポーネントをインストールし、負荷を調整して分散することもできます。

ハードウェアと構成によっては、最大50～100台のカメラから構成される小規模なシステムは1台のサーバーで実行できます。100台以上のカメラがあるシステムの場合、Milestoneは、すべてまたは一部のコンポーネントで専用サーバーを使用することをお勧めします。

インストールによって必要なコンポーネントは異なります。コンポーネントは後からいつでも追加できます。このようなコンポーネントは、別のレコーディングサーバー、フェールオーバーレコーディングサーバー、モバイルサーバーをホスティングし、XProtect MobileとXProtect Web Clientへのアクセスを提供します。



helpfeedback@milestone.dk

Milestoneについて

Milestone Systemsはオープンプラットフォームの監視カメラ管理ソフトウェア (Video Management Software: VMS) の世界有数のプロバイダーです。お客様の安全の確保、資産の保護を通してビジネス効率の向上に役立つテクノロジーを提供します。は、世界の15万以上のサイトで実証された高い信頼性と拡張性を持つMilestone Systemsのソリューションにより、ネットワークビデオ技術の開発と利用におけるコラボレーションとイノベーションを促進するオープンプラットフォームコミュニティを形成します。Milestone Systemsは、1998年創業、Canon Group傘下の独立企業です。詳しくは、<https://www.milestonesys.com/>をご覧ください。

